

- おもな内容**
- ▶昭和49年度学校保健センター的事業の展望
  - ▶学校保健センター的機能の活動の現況について
  - ▶「けがを防ごう」
  - ▶毎月の体重測定の利用しよう
  - ▶学校保健講習会(歯科)を終えて
  - ▶横浜市学校保健会の活動
  - ▶昭和49年度日本学校薬剤師会行事予定
  - ▶推薦公告

The School Health (No.101)

昭和49年3月1日発行

# 学校保健

(隔月発行)  
 発行 日本学校保健会  
 可児 重一  
 東京都港区芝西久保明舟  
 町20第18森ビル2号館8階  
 電話 (501) 3785  
 振替口座東京 98761  
 頒価 1部50円(送料共)

財団法人 日本学校保健会会報

## 昭和49年度学校保健センター的事業の展望

文部大臣は昭和43年9月、その諮問機関である保健体育審議会に対して「児童生徒等の健康の保持増進に関する施策について」諮問し、それに対して保健体育審議会は昭和47年末に答申を行なったが、その答申の中で「本答申中に述べた施策を適切に実施し、今後における積極的な学校保健を推進していくためには、次に掲げるような業務を行なう機関(学校保健センター的機関)が必要であるので、国はその設置について考慮すべきである。」と述べ、8ヶ条の重要な業務を列挙している。

しかし、国が直ちにそのような学校保健センター的機関を新規に設置することは困難な事情にあり、文部省は答申の趣旨を生かすために、さし当って国庫補助金を交付し、学校保健センター的業務の実施を、その外郭団体である日本学校保健会に委託したわけである。

日本学校保健会は会の機構を改革して活動の充実強化をはかり、わが国学校保健の向上のため積極的に使命達成めざして邁進しようとする気運のみなぎって

いる矢先のことでもあり、勇躍してこの委託を受諾したのである。

日本学校保健会は昭和48年度はじめから学校保健センター的事業の実施に着手し、先ず企画運営委員会を設け、そのもとに答申に列挙されている各種重要課題をそれぞれ担当する8つの専門委員会をつくって発足した。各委員会については、それぞれ担当業務について豊富な学識経験をもつ学校保健のベテランが委員に嘱託された。

各委員会は頻繁に会合して検討を重ね、それぞれ数校の研究協力校を委嘱して、着実に調査研究をすすめた。

各委員会は本年度内に実施した各種調査研究を報告書として取りまとめて、近日関係方面に配布するとともに、来年度活動の基礎資料とする。

昭和49年度は昭和48年度に引き続き各委員会の活動を強力に進めて行く予定である。

## 学校保健センター的機能の活動の現況について

本年度、日本学校保健会は、従来の事業に加え新規事業として、①普及指導事業 ②調査研究事業 ③健康相談事業の3つの事業について活動を進めてきた。その機構及び活動状況等は下記のとおりである。

### 各事業の内容及び活動状況

#### (1) 普及指導事業

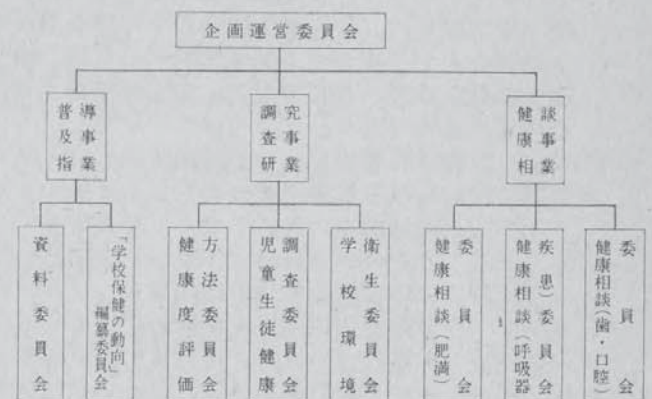
ア 普及指導事業においては、主として次の2項目について調査研究を進めた。

(ア)学校保健の普及充実を図るため、学校保健に関する内外の資料の収集、整理、保存、提供及び広報活動などを行うため「資料委員会」を設けて推進した。

(イ)学校保健に関する現状ならびに今後の課題等を「学校保健の動向」として編纂、刊行し、広く普及するため「学校保健の動向」編纂委員会を設けて推進した。

#### イ 委員会の活動状況

### 各事業推進の機構



(ア)資料委員会(委員10名)

○国内資料については都道府県、市町村等において(次の頁につづく)

(前頁よりつづく)

て作成した「学校保健」に関する実践的資料を収集(現在16縣市137冊を収集)これを分析整理し、抄録の作成を行なった。

- 国外資料については、各委員会がリストを提出、これらの抄録の作成にかかる。
- これら諸資料を分類整理し、将来学校保健資料センター的機能をもたせる構想で収集を進めている。

(1)「学校保健の動向」編纂委員会(委員4名)

「学校保健の動向」の内容については「学校保健—現状と将来—」がわかるようなものにし、全国学校保健関係団体の活動、特殊教育関係等についても言及したものとすべく、その作成作業進行中である。年度末には昭和48年度版がでる。

(2)調査研究事業

ア 調査研究事業においては、主として次の3項目について調査研究を進めた。

- (ア)児童生徒の積極的な健康度(体力、運動能力を含む)の評価方法についての研究を「健康度評価方法委員会」を設けて研究協議を進めるとともに、研究協力校(小学校2校、中学校2校)を委嘱して推進した。
- (イ)児童生徒の統合的な健康に関する情報の収集、整理、分析及び児童生徒の発達段階について、特に注目すべき疾病異常その他心身の健康上の問題の動向、特異性等についての調査研究を「児童生徒健康調査委員会」を設けて研究協議を進めるとともに、研究協力校4校(小学校2校、中学校2校)を委嘱(予定)している。
- (ウ)学校環境衛生及び地域社会の環境と、児童生徒の健康及び学習能率との関連についての調査研究を「学校環境衛生委員会」を設けて研究協議を進めるとともに、研究協力校(小学校2校、中学校2校)を委嘱して推進した。

イ 各委員会の活動状況

- (ア)健康度評価方法委員会(委員19名)
  - 当面文部省が実施した運動機能テスト(4項目)の結果を取り上げ、健康に影響する諸因子との関連について調査研究を進めた。
  - 諸因子との関連について自己評価、体育学習、生理学的な項目は、研究協力校4校(小学校2校、中学校2校)の児童生徒を対象に調査票による調査をし、あわせて健康診断(心電図、血圧、検尿、筋肉、皮脂厚など)を、予防医学協会の協力を得て行なった。
- (イ)児童生徒健康調査委員会(委員16名)
  - 当面学校における健康調査のあり方をまとめるとともに、保健調査の内容について調査研究することとし、その内容検討に必要な児童生徒の年齢段階における疾病異常の傾向等をリストアップし、保健調査の原案作成を進めている。
  - 保健調査の原案については、研究協力校(小学校2校、中学校2校)(委嘱予定)において試行し、検討のうえ、成案とする。
- (ウ)学校環境衛生委員会(委員15名)
  - 学校環境衛生の効果的な検査方法と事後措置に関すること、学校環境と地域社会の環境との関連性及び環境と学習能率との関連を調査研究す

るため研究協力校4校(小学校2校、中学校2校)を)委嘱した。

- 当面、研究協力校についての環境衛生に係る基本的調査を行ない、その結果に基づいて、今後の具体的な調査研究の内容及び方法を決定するため、教員、児童生徒及び父兄を対象とした意識調査と、環境衛生実態調査を日本学校薬剤師会の協力のもとに行なった。

(3)健康相談事業

ア 健康相談事業においては、肥満、ぜん息などの呼吸器疾患及び歯・口腔衛生についての学校保健管理推進のモデルとするため、主として次の3項目について調査研究をした。

- (ア)児童生徒の疾病異常のうち、肥満、(やせ、低体力を含む)について調査研究を進める健康相談(肥満)委員会を設けるとともに、研究協力校を委嘱して、教育的配慮のもとに健康相談を行なう。
- (イ)児童生徒の疾病のうち、ぜん息などの呼吸器疾患について調査研究を進めるため「健康相談(呼吸器疾患)委員会」を設けるとともに、研究協力校を委嘱して、教育的配慮のもとに健康相談を行なう。
- (ウ)児童生徒の疾病異常のうち、歯・口腔衛生について調査研究を進めるため「健康相談(歯・口腔)委員会」を設けるとともに、研究協力校を委嘱して、教育的配慮のもとに健康相談を行なう。

イ 委員会の活動状況

(ア)健康相談(肥満)委員会(委員9名)

- 当面「体力、心理、1日の運動量、環境および栄養摂取」の面から調査研究をするため、研究協力校2校(小学校2校)の児童の実態調査を行なうこととした。
- 実態調査の結果を研究討議し、肥満についての健康相談の指導指針を作ることを目標としている。

(イ)健康相談(呼吸器疾患)委員会(委員7名)

- 当面、児童生徒の呼吸器疾患とくに気管支ぜん息について、その動態と学校における保健管理の方法を明らかにするための動態調査および精密検査を実施すべく具体的な計画を立てている。
- 児童生徒の呼吸器疾患の動向、将来予測等に関して、内外の文献の収集を進めている。
- 動態調査、精密検査は研究協力校を委嘱して実施する。

(ウ)健康相談(歯・口腔)委員会(委員8名)

- 児童生徒の歯・口腔の疾病状況を把握するとともに、疾病異常の変容を調査研究するため、研究協力校4校(幼稚園2園、中学校2校)を委嘱し、刷掃指導、弗素うがい、樹脂の塗布を実施している。
- 以上の結果にもとづいて、学校保健管理のうち歯・口腔疾患児に対する専門的な健康相談をなしうる指導指針を作ることを目標として進めている。

(4)企画運営委員会(委員19名)

以上、学校保健センター的機能を円滑かつ効果的に進めるため学校保健についての学識経験者、教委関係者、校長、教員等からなる企画運営委員会を設け、専門的見地から、上記3事業の企画連絡調整等を行なっている。

## 校長先生の訓話(3)

## 「けが」を防ごう

横浜市立岩崎中学校長 石井宗一

「2年4組のOさんが「けが」をしたので、田口病院まで行ってきます。」保健部のK先生が、あわただしく校門を出ていく。どうしてこう「けが」が多いのだろう。横浜市の中学生は、100人のうち2人が安全会の世話になっています。岩崎中学校は1,803名、4月から2月までに141件ありますから、100人のうち7.7人です。そのうち23名の骨折があります。先般、小学校から現在まで、骨折した経験のある生徒を調べたら、驚くなかれ79名もありました。諸君は、子どもの頃、山野を存分に駆け回る機会もなく、運動場も極端にせまい。食べものも豊富で、ぜいたくになり、好き嫌いが多からではないか。アンケートによって調べたところ、意に反して75%は運動好きであり、偏食もない。幼児の頃に歩行器で歩きはじめたものは15%にすぎない。いわば、健全な生活をして、中学生になった諸君

です。

では、なぜ、骨折をするのか。これらの生徒は、運動好きで放課後も積極的に活動をしています。「けが」をする機会が多いことになります。だが、大事なことは、「けが」をしたとき、みんなで、その原因を深く考えたことがあるでしょうか。「けが」の原因は、不注意が第一で、次は運動や遊びかた、運動場の施設や用具の状態が普通でないときです。なぜ、注意をしないのでしょうか。「けが」を防ごうとする意識がないからです。意識するための知識が不足しているからです。アメリカのハインリッヒという人は、1人の重傷者のかげに29人の軽傷者があり、さらに、その背後には300人がヒヤリ<sup>!</sup>としていてと発表しています。運動のしかたや場所や用具の使い方を考え、安定した気持で行動をし1人も「けが」をしないようにしましょう。

## 毎月の体重測定資料を活用しよう

秋田県大館市立長木小学校長

小林

あらた  
新

## ○資料を作る

どこの学校にも、いろいろな調査、検査、測定などした数値の資料があるものだ、なかには毎月のような数値表を作りながら運営されている学校もあろう。しかし、どう活用しているかと思うと、案外「公開研究会」用であつたりする。

当校では毎月全校生が級別に体重の測定が行なわれ、一らん表に記入されているが、それだけのことの感が強いのである。せいぜい通信箋や、健康カードに記入するちょっとした利用のようである。もっと利用できないものかと思って考えたことはこの「毎月の体重測定値の分布表」を作りながら子ども自身に反省させたり、指導的助言をして健康管理に当る方法であつた。

## ○全校の変化はどうなっているか

この仮説はいろいろな領域、分野にあるに違いない。教科毎の評定の変化を年間10回もみれば、個人指導や

PTAの話題にもさせ得ようと思う。体重の変化を追うてみると教科の指導と同様に指導助言に気づくものである。学校保健の主任の仕事として全校の資料をまとめることは有意義である。特に「中間発表」などによって深い関心を持たせ得たら主任としても楽しいことである。

## ○別表は6年女子の体重変化の月別の分布である

- ①もしも4年生の表であれば4年生に引継がれて、毎月の測定の楽しみ、喜び、不安を感じ、自分の健康に注意するようになろう。
- ②全国、全県、当校の平均体重の表よりも、正印の一本一本に氏名があるので具体的に指示しやすい。普通生を除いて、軽重の両端に近い者の注意を追うと、そんなに時間のかかるものではなく、統計を作ることによってすぐその子に気づくことができる。

学校保健活動の推進にカワイのビタミンAD剤

カワイ肝油ドロッツ

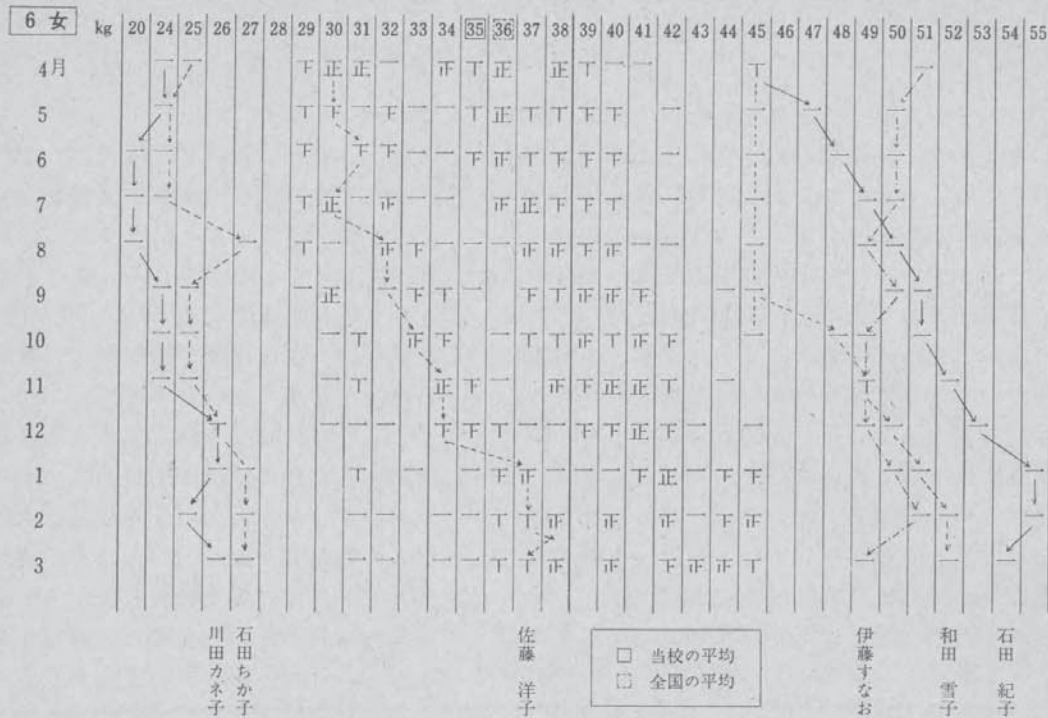


製造発売元

河合製薬株式会社

東京都中野区新井2丁目51-8

毎月の体重測定値分布表



○ 6年女子の表をみると

- ① おや、全国平均より下廻っているな、軽い二人と重い三人を除いても全国より1kg軽いのかな。
- ② 軽い川田、石田さんと重い石田、和田、伊藤さんは正常かな。伊藤さんは軽減に努力しているナ、石田紀さんの食生活について母親と話してみる必要があるのか、などと考えられる。この時点で指導が始まるが隣の中学校に行けばどう変化するものだろうか、その変化が正常であることを希望している。

○ 主任の中間発表として

- ① 男子では4年と5年は学級経営に留意して下さい。上廻っている学年は…。
- ② 12.3.年の男子は2kgづつ増しているので2kgを上下の大きいものに留意下さい。
- ③ 4年男になると体重の4月と翌3月の順位が大きく変化している。少ないもので3kg、多い者は5kg増している。この変化をメドにして吟味して下さい。
- ④ 5.6年男は4年男の延長のような気がするが、女

子も男子のようだろうか…。

- ⑤ 4年生は体重の変化(増す具合)が甚だしいことは、どんなことを意味するものだろうかなどと問題の形で投げかけておく主任の話であってもよいと思う。

かくて、自分の体重の変化に深い関心を持たせることができるような気がする。

算数で、表の作り方、統計グラフの指導にこうした資料を利用するような先生でありたい。

**学童の集団検尿には  
潜血検査も**

キッドステック™  
ヘマトビステック®

Kidstix  
Hema-Combitix

製造元: エームス事業部 販売元: 三共株式会社  
マイルス・三共株式会社

大腸菌群簡易試験紙

# バクテスター1号

日本学校保健会推薦品

面倒な大腸菌群試験が誰にでも容易に出来ます。

学校保健における衛生管理、汚染調査、児童の環境衛生観念の普及にご利用下さい。



## 関東化学株式会社

東京都中央区日本橋本町3-7 TEL03-279-1751

# 学校保健講習会(歯科)を終えて

神奈川県歯科医師会 専務理事 三田 昭太郎  
学校歯科担当理事 貴志 淳

昭和48年度学校保健講習会(歯科)を開催しました所、北は北海道から南は沖縄まで全国津々浦々から多数横浜市にご参集を頂き厚くお礼を申し上げます。開催県としまして大変ご不自由ご不便をおかけしましたこと深くお詫び申し上げます。神奈川県歯科医師会としても十分に意をつくせなかったこと反省をしているところでありますが、その経過の概要をご報告して今後のこの業事推進に資したいと考えております。

日本学校歯科医会より本会に開催地としてご推せんを頂いてより関係官庁および団体に充分な趣旨の徹底をはかると共に昭和48年度予算に不十分ではありましたが、その措置を決定しました。この間にも日本学校歯科医会はじめ神奈川県および横浜市の教育委員会、横浜市学校歯科医会より多額のご援助をえたわけであり、当然本会と県教委との間に協同の準備委員会が設置せられ、この講習会を成功させるため、寧日なき努力が積みかさねられてまいりました。しかし開催案内状の発送にあたって一部地域にご迷惑をおかけしましたことはこれからの運営に改善すべき点などをみいだした次第であります。

## 昭和48年度学校保健講習会(歯科)開催要項

### 1. 趣旨

学校保健における歯に関する指導の重要性にかんがみ、校長、保健主事、養護教諭、一般職員および学校歯科医に対し、歯科保健について必要な研修をおこない、もって学校保健の向上を図る。

### 2. 主催

文部省、神奈川県教育委員会、横浜市教育委員会、日本学校歯科医会、神奈川県歯科医師会学校歯科部会、横浜市学校歯科医会、

### 3. 期日

昭和48年11月6日(火)、7日(水)

### 4. 会場

神奈川県立青少年センター  
横浜市西区紅葉ヶ丘9

### 5. 対象

(イ)国・公・私立の幼稚園、小学校、中学校、高等学校および特殊教育諸学校の校長、保健主事、養護教諭、一般教員で都道府県内において学校保健の指導的役割りを果すもののうち、教育委員会が推せんする者。

(ロ)国・公・私立の幼稚園、小学校、中学校、高等学校および特殊教育諸学校の学校歯科医で教育委員会が推せんする者。

(ハ)上記の(イ)(ロ)をあわせて1都道府県当り10名程度とする。ただし特別区および指定都市を含む都道府県は20名以内とする。

(ニ)都道府県および指定都市教育委員会の関係職員1名。

### 6. 講義

#### (1)学校保健の動向

文部省体育局学校保健課長 波多江 明

#### (2)学校保健法施行令等の改正と学校歯科保健

文部省体育局学校保健課教科調査官 能美光房

#### (3)う蝕発生のメカニズム

日本大学歯学部教授 山田 茂

#### (4)う蝕の予防法

日本歯科大学教授 丹羽輝男

#### (5)ブラッシングの理論と実際

愛知学院大学歯学部教授 榊原悠紀田郎

### 7. 研究協議

シンポジウム

#### a) 演者

十木久吉(横浜市立末吉小学校長)

小方一男( " " 保健主事)

## ● 女子生理教育用カラーズライド

日本学校保健会監修

カラーオートスライド(66カット・15分、録音テープ、台本、マニュアルつき)

「いつものあなたでいるために」

—月経の知識と正しい手当て—

#### ■ 内容

月経の仕組みとはたらきを中心に、月経時についての考え方や生活管理の方法をわかりやすくまとめてあります。

■ 無料でお貸しいたします。

(実費にても頒布)

お申込みまた、使用上の詳細については、下記へ、お問合せ下さい。

東京都港区港南2-6-10三ツ矢ビル



株式会社 チャーム 企画室

TEL 03 (474) 2031

上原暢太郎 (横浜市立末吉小学校教諭)  
 井上幸栄 ( " " 教諭)  
 金子雅代 ( " " 養護教諭)  
 河野二男 ( " " 学校歯科医)

内藤真一 (横浜市鶴見区学校歯科医代表)  
 橋本陽子 (横浜市立末吉小学校PTA)  
 b)司会者  
 霜島元次 (横浜市立鶴ヶ峯小学校長)  
 これら主題にしたがって日程編成を次のように作ってみました。

	9.30	10.00	10.30	11.15	12.30	13.30	16.00	16.30
第一日	受	付	あいさつ	(1)	(2)	休	研 究 協 議	
第二日			(3)	(4)	け	(5)	質 疑	あいさつ

このような次第でおこなわれたわけですが、次に各講師の講演内容についてふれてみたいと思います。

演題1. 「う蝕発生のメカニズム」 山田 茂先生  
 う蝕発生の機序には未解決の問題が多く、ここでは主としてエナメル質う蝕の問題、たとえばエナメル質の組成という蝕発生活動、う蝕の原因論、とくに重要なう蝕原因菌の1つのSt. Mutansの発見とそれによるう蝕発生活動について講演がおこなわれた。

演題2. 「う蝕予防法」 丹羽輝男先生  
 う蝕罹患についての主因と誘因の問題について、主因の比重の大きさについてのべられ、主因対策のみの予防に終始しても効果がおこらない。う蝕については誘因ともいべき環境因子の改善をはからねばならない。これが社会病ともいわれるゆえんであって、主因を対象とした特殊なう蝕予防法に考慮を払うことはもちろん、誘因ともいべき学校の社会的環境や学校保健活動についても、これらをよく検討してゆかねばならない。

演題3. 「ブラッシングの理論と実際」 榊原悠紀田郎先生  
 学校歯科のなかで、ブラッシングは古くからとりあげられた問題であるが、口腔衛生といえば“歯みがき”かというほどである。しかしその割には本当にわが国の学校の児童生徒の口のなかはあまりきれいでない。またいろいろな調査結果からみても、日常生活のなかのブラッシング習慣は十分定着しているとはいえないようであるとの観点から、いま一度考えなおそう。

研究討議 横浜市末吉小学校  
 主題として「歯に関する保健指導を効果的に進めるためには、どのようにしたら」ということで、校長以下PTA代表まで各職務内での現状と将来を展望され

ました。重点目標である「う蝕予防と治療・体力づくり」について、学校ぐるみの運動推進については横浜市を代表する学校にふさわしい立派な出来栄であったと自賛するものでありまして、特にPTA代表の藤本陽子保健委員長の活躍はみのがせないものでした。なおこの協議に充分時間がとれなかったことが残念でありました。

いわゆる70年代高度成の時代から「エネルギー危機」のときに、この講習会が開催され、緊迫した雰囲気になるのではないかと案じて、おりましたところ、全国から参加の各位には現時点に対応した歯科保健確立のため、特段にご理解ある参加を頂けましたこと主催者の一員として感謝の念をきんじえません。この学校歯科の方向も環境も幾度か変化しながら、この新時代への問題点をはらみつつ、新しい学校教育の場に歯科保健をどのように位置づけてゆくか時代対応のなかに現場での進展に寄与しようとしているわけであります。今後この講習会の成果が、全国各地にみられることを期待してやみません。終りに主催者の各位の格別のご配慮に深甚の謝意を表します。

**NIS** 日本学校保健会推薦品

**Nフィーダー**  
塩素減菌機として  
始めて日本学校保健会推薦品  
となりました

(定量注入ポンプ)



CS-100型

定量性・耐久性ともすぐれ保守管理はだれにでも容易にできます。

学校のプール  
・ 飲水の塩素減菌  
にご利用下さい。

**日本フィーダー工業株式会社**

大阪事業本部 大阪市西区土佐堀船町23 大阪商工ビル TEL(06)441-5181代表  
 東京支店 東京都練馬区北町2丁目24番3号 八光ビル TEL(03)931-5361  
 本社・工場 兵庫県朝来郡生野町1999 TEL(0796699)331

疲労▶栄養補給に

ポポンS錠

シオノギ製薬

保健会だより(4)

# 横浜市学校保健会の活動

横浜市学校保健会では、横浜市教育委員会・横浜市学校給食会と共催で、次の要領により、第17回横浜市保健大会を行なった。

- 期日 昭和49年2月14日
- 会場 県保健教育センター・県業業会館・県畜産センター

### 1. 趣旨

本大会は、横浜市学校保健会を構成する各組織が協力し「児童生徒等の健康の保持増進に関する施策について」の答申をふまえ、学校保健の近代化をはかる。

### 2. 研究主題

改善された健康診断をそれぞれの立場で確認し、実践活動をおしすすめる。

〈設定理由〉

- 本市学校保健の現状を把握する。
- 各部会の主題に即し、関係支部が研究協議する。
- 研究の成果を学校、支部などで実践し、十大都市学校保健協議会に活用する。

### 3. 分科会を構成する理由

教育活動を円滑にし、その効果をあげるための8部会の主題を中心として、それに関連した各支部が共に研究実践する。

- (1) 児童生徒の成長・発達を把握し、促進するための分科会 第1.2.3.4分科会……保健管理
- (2) 児童生徒が保健に対する理解を深め、実践力をつけるための分科会 第5.6分科会…保健教育
- (3) 学校保健の諸分野、各組織の関連を密にするための分科会 第7.8分科会……組織活動

### 全体会

改善された健康診断のあり方について、本市学校保健会では、昨年来、健康診断検討委員会を特設し、大都市としての本市の実状にそくした実施方法について検討をすてきた。

今回、この全体会にその内容を提案し、それぞれの部会の意見を聴取して、より望ましい横浜なりの方法の開発をはかりたい。

また、本大会は改善された健康診断のあり方に焦点をあてた。従って、この全体会で話し合われた内容を各分科会では核として受けとめ、協議内容をさらに発展・深化させていただくことを期待するものである。

司会者 荒井正巳(教委指導主事)

横浜が思考する健康診断

横浜市学校保健会会長 榊田 桂

健康診断検討委員会委員長 岩崎恵三

部会代表者

- 学校医部会 内山寅司、学校眼科医部会 塚原千代子
- 学校歯科医部会 森田純司、学校薬剤師部会 森下一男、校長部会 須藤久幸、保健主事部会 佐藤雅一郎、養護教諭部会 大川郁子、PTA部会 猿渡 茂

### 第1分科会

児童生徒の成長発達を把握し、促進するため新しい健康診断のありかたについて語協議する。

(協議題)健康診断の再検討(とくに保健調査について)  
提案者 学校医部会 塚本信之(日吉台小学校医)

情報化社会における学校保健、とくに健康診断を含めた保健管理のシステム化が今日の重要な課題となっている。従来の考え方とことなり健康の保持と増進、ならびに体力の増強を含む健康開発が、学校保健の新しい方向とされ、近視・心臓疾患・情緒障害・肥満・公害による疾患等疾病構造の変化に対処し得る診断体系を早急に確立する必要が生じている。以上の観点から我々は新しい考え方に基いた児童健康調査票を設定し、本日その原案を提示するので各位よりその専門的立場からいろいろ検討をいただき御教示を得たい。

法改正に伴う健康診断の検討(保健調査について)

提案者 金沢支部 黒川勝年(金沢中学校保健主事)

金沢支部では、年度当初「健康手帳の利用」について昨年引き続き研究することにしてきましたが、学校保健法が改正され、健康診断の内容が変わってきますので当然健康手帳も改正されてきます。そこで、今年度は当面する実施上の問題点に主題を向けていくことにいたしました。内容は、健康診断の実施方法を検討し、横たわる問題点を出し合いその解決の方向を話し合うことと、新しく設けられた保健調査について、児童生徒の健康を把握し、健康診断を的確、かつ円滑に実施するさめの最少限の内容ということで研究を進めてきました。

分科会では保健調査の調査内容を大きく「生活環境」「生育過程における健康状態」「情緒の傾向」にまとめたものを提案し、健康診断実施上の問題点とその解決の方向については、大会当日横浜方式が発表され、午前中パネル形式で討議されることになっていますので、そこで残された問題を分科会にもちかえり、それを中心に話し合いを進めていきたいと考えています。

(以下の分は次号に掲載の予定です。)

歯ブラシはお口のサイズに合ったものをお選びください **バネット** **ジュニア**

100円

ライオン歯磨株式会社

# 昭和49年度日本学校薬剤師会行事予定

昭和48年度も間もなく終り、希望に燃える昭和49年度のスタートが切られようとしているが、学校保健の一翼を担う学校薬剤師会の行事予定は次の通りである。

1. **日本学校薬剤師会総会** 東京・渋谷の薬学会館講堂において5月13日午前10時30分から開催、通例議事の外、本年は役員改選があり、議事終了後協議会が

開催される。

2. **第21回全国学校薬剤師講習会** 日本学校保健会、日本学校薬剤師会、埼玉県教育委員会等の主催で埼玉県浦和市、市民会館において5月23・24日次表の通り開催される。

第一日	受付	開講式	文 部 省 講 議	休 憩	学校をめぐる 細菌検査 (芦田埼玉衛生研)	学校環境衛生 質 基準について (国崎専門員) 疑	
第二日	埼玉 県 学校 保健 の 紹介		学校施設の計 画と維持管理 (文部省指導課)	休 憩	調査成績の まとめ方 (群大・永田稔)	光 化 学 スモッグ (慶応・外山教授)	閉 講 式

3. **学校保健(学校環境衛生)講習会**、文部省と共催

鹿児島 9月25・26日(西部)

秋 田 10月2・3日(東部)

4. **日本薬剤師会第7回学術大会**

新潟市 ホテル新潟 10月4・5日

学校保健部会 4日午前9時～午後3時

5. **第24回全国学校薬剤師大会** 宮崎11月8日

## 《推薦公告》

**ハイライト®90(プール用)** 日産化学工業株式会社  
プールの消毒で頭を痛めておられる先生方へ!!

本品は次の特長を有するプール用消毒剤です。

- 目・鼻を刺激しません(赤目・涙目の追放)。
- 水質を変えません(水が濁らず、pHを変えない)。
- 持続性があります(1日1～2回の投入で充分)。
- 有効塩素含有量が高く殺菌効果が強い。
- 貯蔵安定性が高い(未開封で1年以上の貯蔵可)。

6. **第24回全国学校保健研究大会**

宮崎 11月9日～11日

その外10大都市学校保健協議会(東京・5月26日27日)、各ブロック学校保健大会等が開催される。一昨年末の保健体育審議会の答申の中でも学校環境衛生の重要性が強く打ち出され、文部省において学校環境衛生基準の検討を始め、昨年9月そのための協力組織が発足し、学校薬剤師会からも数名参画して、その作業にあたっており、本年中に文部省から基準として示される段階にあるというような状況から、以上の行事における学校薬剤師の活躍を期待する。

## 編 集 後 記

昭和48年度の学校保健センターの事業も、とどこおりなく終了し、年度末には、各委員会の報告書をお届けすることができます。一年間をふりかえり、更に新年度は、本格的に研究調査を進めて参ります。(K)

—日本学校保健会ご推薦品—

## ハイライト®90

特 長 ●優れた持続性一薬剤の投入は、1日1～2回  
●目を刺激しません。 ●有効塩素が高い—85%  
以上— ●安全性が高い ●水質は変わらない  
(水に完全に溶けます)




★ **日産化学工業株式会社**

ファインケミカル部

本 社	東京都千代田区神田錦町371(興和一橋ビル)	03(295)2311
大阪支店	大阪市北区梅田2(第一安田生命ビル9階)	06(344)3051
名古屋支店	名古屋市中区錦1-3-4(不動産ビル5階)	052(201)3436
福岡支店	福岡市中央区天神2-8-38(協和ビル4階)	092(75)6736
札幌支店	札幌市中央区北一条西5丁目(北一条ビル9階)	0122(25)0261

**プール用高級消毒剤**

**偏食**や胃腸疾患  
などで食事からとる  
ビタミンが不足する  
場合。栄養状態が悪  
いとき。幼・小児の  
発育促進に。




# パンビタンペレ®

60錠・150錠

---

# パンビタンペレ®

チョコレート  
60錠・150錠



## タケダ

●甘くてのみやすく、しかも吸収されやすいタイプになっています。